

## 使用前点検

1. 電池残量が十分であることを確認して下さい。
2. ガス採集チューブに折れ、穴が開いていないことを確認して下さい。
3. ガス採集棒内のフィルタの汚れ具合や目詰まりがないことを確認して下さい。
4. 本体とガス採集棒およびガス採集チューブの接続が正しく行われていることを確認して下さい。

## 使用方法

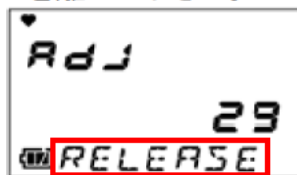
### 1. 電源の入れ方

ブザーがピーと鳴るまで[POWER]スイッチを押し続けます。電源がつき約 30 秒後にピーピーと音がしたのを確認できたら検知モードとなります。

### 2. エア校正の仕方

検知モードで[△/AIR]スイッチを押し続け、ピーピーピーと音が鳴り LCD 下部に RELEASE が表示されたらボタンを離して下さい。ガス濃度表示がゼロ(酸素は 20.9%)になります。

**注意: 新鮮な大気中で行って下さい。**



※TYPE-AE のみ 30 秒のカウントダウンを行います。

### 3. 検知の仕方

検知モードになっていることを確認し、ガス採集棒を漏洩する可能性のある場所に近づけて下さい。大気中の検知対象ガスを検知します。

### 4. 警報の鳴動/解除方法

#### [警報の鳴動]

ブザーが鳴動し、濃度表示・ランプが点滅します。警報を解除しない限り、検知対象ガスが存在しなくても警報音等が、鳴動し続けます。

#### [警報の解除]

検知対象ガスの濃度が警報設定値以下(酸素センサは酸素濃度が 18~25vol%)に回復した後、[RESET]スイッチを押して警報を解除して下さい。

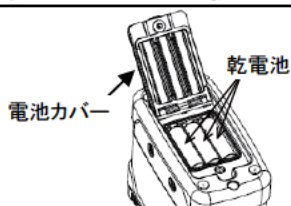
### 5. 電源の切り方

ブザーがピーピーピーと音が鳴り、LCD が消えるまで[POWER]スイッチを押し続けます。

### 6. 電池交換/充電方法

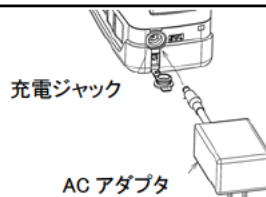
#### [乾電池ユニットの場合]

本体裏側の電池カバーを開けて乾電池を 3 本とも新しいものに交換して下さい。



#### [Li-ion 電池ユニットの場合]

電池ユニットの側面にある充電ジャックに AC アダプタを差し込み充電を行って下さい。



**注意: 電池交換・バッテリーユニットの充電は非危険場所で行って下さい。**

## トラブルシューティング

症状	原因	処置
<u>電源が入らない</u>	電池が極端に消耗している	①乾電池ユニットの場合：非危険場所で3本とも新品の乾電池に交換して下さい。 ②Li-ion電池ユニットの場合：非危険場所で電池ユニットの充電を行って下さい。
	電池ユニットの実装不良	電池ユニットが正しく本体に装着されているか確認して下さい。
<u>異常な動作をする</u>	突発的なサージノイズ等による影響	電源をOFFにし、再起動を行って下さい。
<u>操作が利かない</u>	突発的なサージノイズ等による影響	非危険場所にて、一旦電池ユニットを外してから再度電池ユニットを取り付け、電源を入れて操作して下さい。
<u>システム異常</u> 『FAIL SYSTEM』	本体回路に異常がある	販売店または最寄りの弊社営業所まで修理をご依頼下さい。
<u>センサ異常</u> 『FAIL SENSOR』	センサが故障している	販売店または最寄りの弊社営業所までセンサ交換をご依頼下さい。(電源投入時のみ[RESET]スイッチを押すことで、故障していないセンサを除き、その他のガスについては使用できます。)
<u>電池電圧低下警報が表示されている</u> 『FAIL BATTERY』	電池残量がなくなっている	①乾電池ユニットの場合：電源を切り、非危険場所で新品の乾電池に交換して下さい。 ②Li-ion電池ユニットの場合：電源を切り、非危険場所で充電を行って下さい。
<u>流量低下警報が表示されている</u> 『FAIL LOW FLOW』	水、油等を吸いこんでいる	ガス採集チューブに損傷や水、油等の吸い込み跡がないか、確認して下さい。
	ガス採集チューブが詰まっている	ガス採集チューブの接続状態及び詰まりやねじれ等を確認して下さい。
	ポンプが劣化している	販売店または最寄りの弊社営業所までポンプ交換をご依頼下さい。
<u>エア調整ができない</u> 『FAIL AIR CAL』	本器の周囲に新鮮な大気を供給していない	新鮮な大気を供給して下さい。
<u>指示値が上がった(下がった)まま元にもどらない</u>	センサのドリフト	エア校正を行って下さい。
	干渉ガスの存在	溶剤等の干渉ガスによる影響は、完全に無くすことは困難です。除去フィルタ等対策については弊社営業所までご連絡願います。
	スローリーク	検知対象ガスが微量に漏れている可能性があります(スローリーク)。放置しておく危険な状態になる可能性があるため、ガス警報時の対応と同等の対応をし、処置を施すようお願いします。
	環境の変化	エア校正を行って下さい。特に、ガルバニ電池式は気圧の影響を受けます。

起こりえる不具合の原因究明の手助けとなるものを簡単に示しています。

ここに記載のない症状や、対策を行っても復旧しない場合は販売店又は最寄りの営業所にご連絡願います。

本機器は保安機器ですので

**6か月に1回以上点検することをお勧めいたします。**

注記：詳細は取扱説明書をご参照願います。